

【翻刻】明治七年（一八七四）改正 小学読本 卷之二 《抜粹》 「八潮市立資料館寄託 大瀬高橋義一家文書二〇七七」

※変体がなは、ひらがなに改め、元となった漢字を【】で示した（初出のみ）。

※旧字体は、常用漢字に直し、原文の字体を「」で示した（初出のみ）。

※適宜ふりがなを付した。

※読点などは原文のままとした。

（前略）

① れ【連】、汝（なんじ）に【尔】、筆の用（い）る方（う）を、教（う）ふべし、筆の用
ゐかたを

② 知ら（さ）されバ、字を習（う）ふこと能（あた）は【者】ず【須】

③ 汝ハ、今日、学【學】校に行きたりや

④ ○学校に行き、終日学びて、先

⑤ 刻、帰【歸】り来れり○然（しか）らバ、座に

⑥ 就きて、復読【讀】せよ、凡（すべ）て、学（ま）びた

⑦ る所をバ、常に、復読して、決し

⑧ て、忘るべか【可】らず

⑨ 第四

⑩ 岸の上に、二人の少年あ【阿】りて、三艘（そう）の船の、岸に着

⑪ くを、見居れり○三艘共に、帆（ほ）を十分に張りて、檣（ほばしら）

⑫ の上に、旗を、揚げたる、船な
⑬ り

⑭ 一人の少年（い）云ふ、我が朋友（ほう）

⑮ ハ、去年、先キの船に乗【乘】りて、外

⑯ 国【國】に、往きたりしが、日を数【數】

⑰ ふれば、其出立せし日より、

⑱ 今日まで、殆（ほとんど）一年に及びて、

⑲ 帰り来れり、

⑳ 彼の両親は、日々、彼の帰る
（後略）